



エルフの養母

～愛するママとエッチなしましたり～

成人向け

あるところに
リーネという
ハイエルフと

あら……♡

おかえりなさい♡

母さん
ただいま

頼まれてたヤツ
もらってきたよ

まあ……♡

いつもいつも
ありがとう♡

リックという
ハイエルフの青年が
共に暮らしていました





……き、
気になくても
いいよ

俺が
やりたくて
やってるだけだし

いいえ……

ふたりの間に
血の繋がりはなくとも
実の親子のように

私には
わかります……



坊やの
優しさ

ありがとう ♡

私への
気遣いが……



仲良く
暮らしていました



俺、この後
母さんと

大丈夫……♡

全てを
口に出さずとも

坊やのことなら
何でも
分かります……♡

だから先に戻って
坊やの部屋で
待っていて……♡

か……


母さんっ



すぐに
私も部屋へ
向かいますから……♡


幸せな毎日に
訪れた転機

それは
リックからリーネへの
ある「お願い」が
きっかけでした




愛する者同士が
お互いを
深く知るために


「性行為を行うという
「エルフのしきたり」



リクはその相手を
養母であるリーネに
お願いしたのです



その申し出に
リーネは
戸惑ったものの――



……
わかりました

母も
初めてですが……



共に
頑張りましょう……♡

その日

ハッ

ハッ

ハッ

母さん...

リックは
リーネを一日中
抱き続けました

はっ

あ...

母さん...

はっ

「共に暮らしていても
知らないことが
まだまだたくさんある」

はっ

身体を重ねることで
そのことが
不思議と
理解できたのです

はっ

グッ...♡



穏やかな
日々の中で

それから
というもの

ハッ
母さん…



坊やのこと……
包みこんで
あげますから……♡



恥ずかしいこと
なんか
ありませんよ……♡

情熱的なひと時も
過さずように
なりました

ハッ



あらあら……♡



ごめん、母さん……
もうこれ以上
されたら――



坊やの
ねばねば
真っ白おし♡♡



それなら
母の
お乳オマンコで♡



受け止めて
あげないと
いけませんね……♡

ハッ！！



常に
献身的な
リーネの姿は

あ……♡

坊やの白蜜が
こんなに……♡



いつ果てても
いいですからね……♡



リクにも
伝わり

坊やの滾り汁で
いっぱいです……♡

母の乳房が……♡





そして
そのたびに
思いました

しゅる...

準備が整った
ようですし……♡

どうやら
坊やも

今度は
こちらの……♡

母の
とろとろ
生オマンコ
に……♡



はっ
はっ

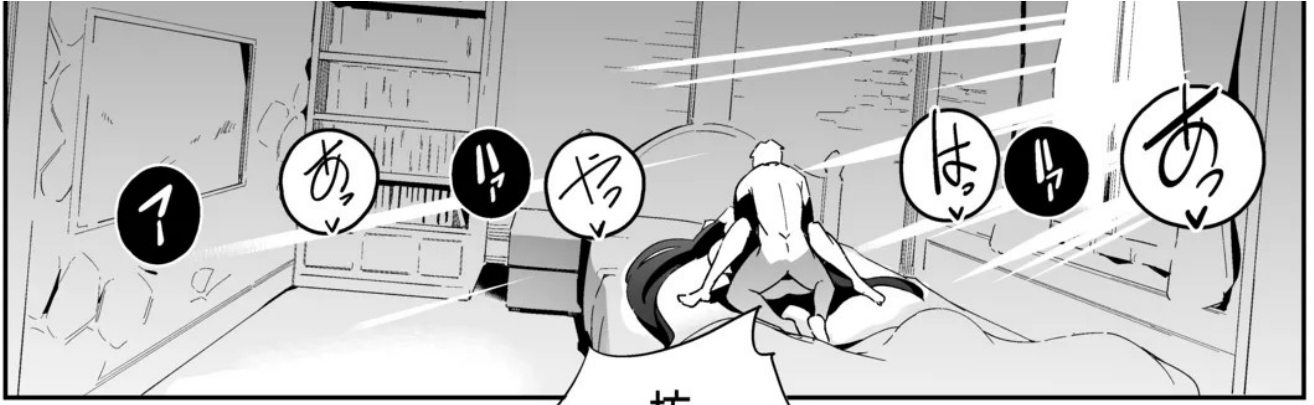
むわぁ

はっ

むわぁ

はっ

「大切な母さんを
誰にも
渡したくない」と



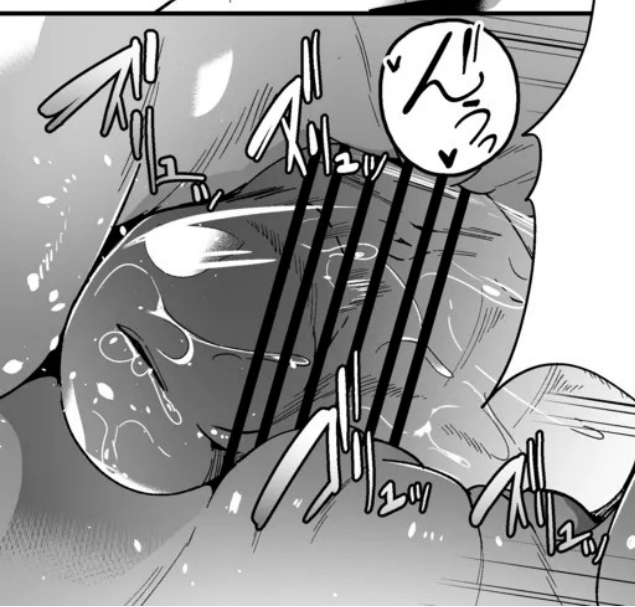
坊やの肉竿っ♡



オマンコの
中をっ♡



ほじくり回っっ
きますっ♡



毎日、毎日……

はー

あー

坊やがっ
こんなにも
求めてくれて……

母は嬉しく
思います……

はー

はー

今朝も
起きてすぐに

はー

はー

あー

はー
はー

慌ててはっ
いけませんっ

あれだけ
励んで
いましたから……

坊やは
まだっ

目覚めたばかり
なのですからっ

はー

はー

はー

はー

はー

はー

はー

はー

はー

はー

はー

はー

はー

はー



母さんのこと
もっと
知りたくて……



ガマンせず……♡

いいんですっ♡

それなら
もっと抉って……

母の奥の
お部屋に……♡



あぁ

アハハハ

ふー

びゅん
しましろう♡

びゅん

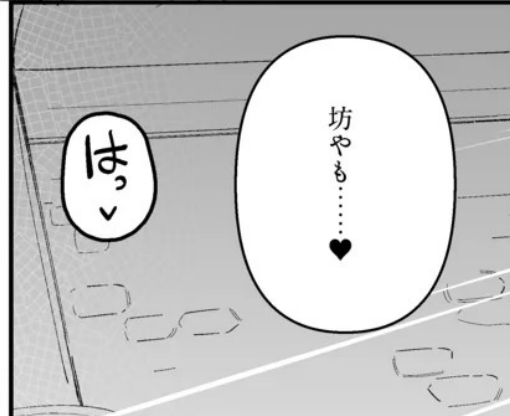
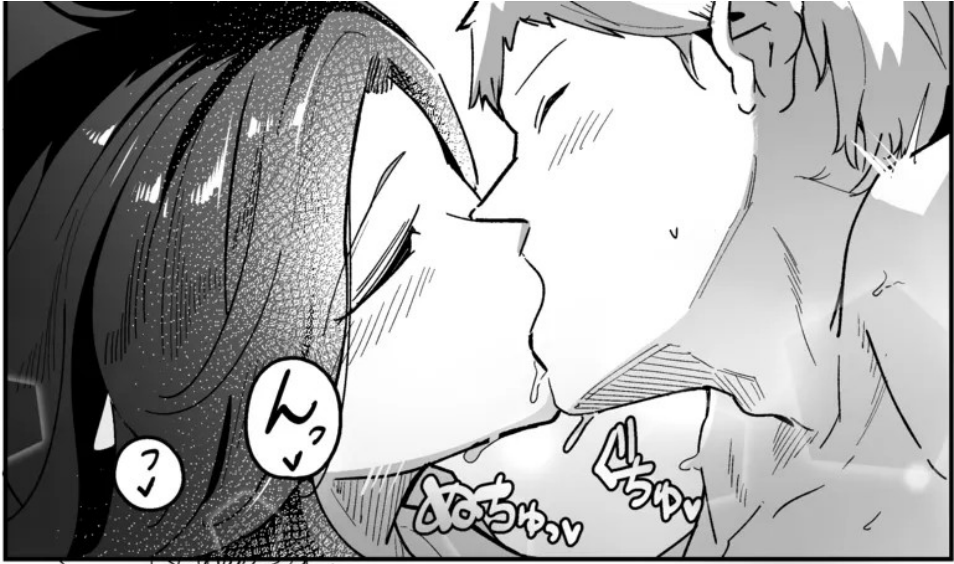
感じます……♡

坊やの
キモチが……♡

あー

あー

びゅん
びゅん





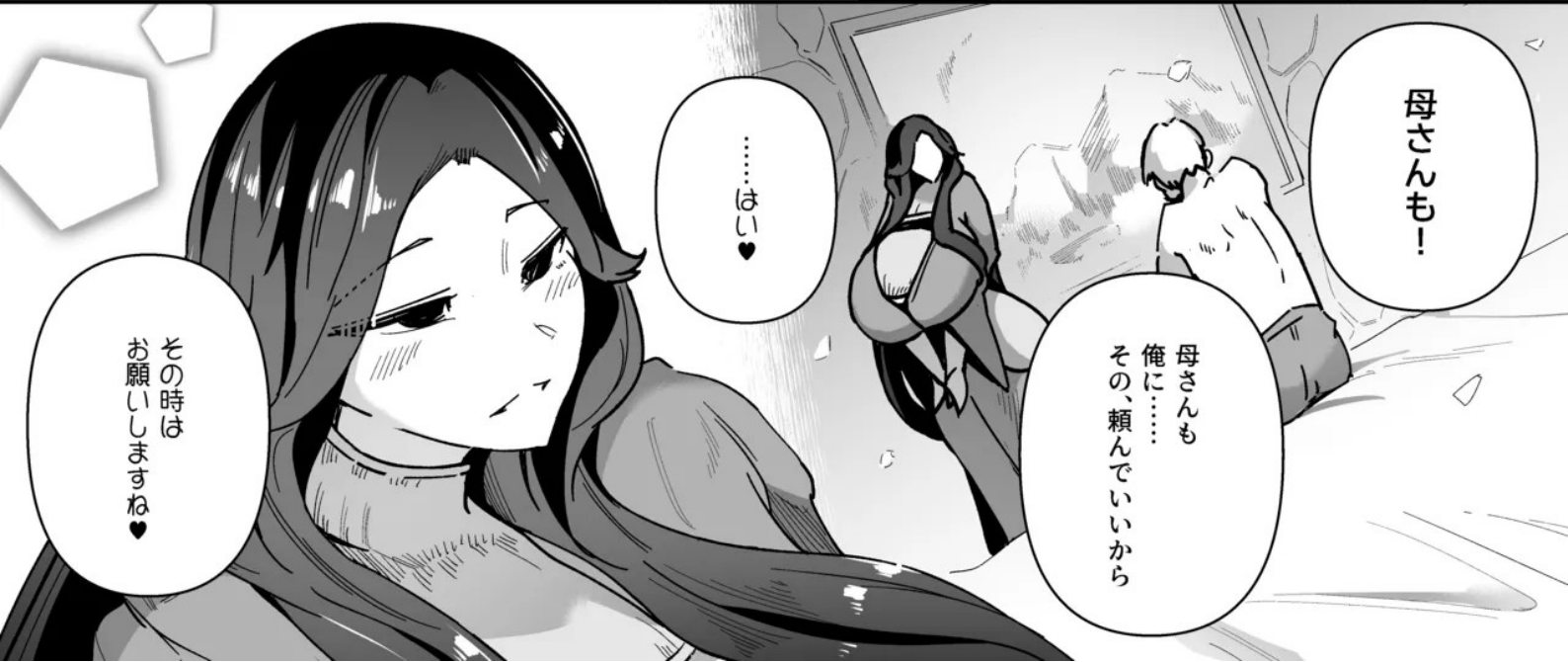
——いつも
言い聞かせていますが

また相手して
ほしいとき

いつでも
母へ伝えること……

遠慮せずに……
いいですね？

……か



母さんも！

母さんも
俺に……
その、頼んでいいから

……はこ♡

その時は
お願いしますね♡

それは
リクにとって
気がかりなことでも
ありません

しかし

リーネが
リクへと頼むことは
一度もなく

……
喉乾いたな

しかし
ある日の夜――

それに……
この声……!?

あゝんんん
あゝ
あゝ

はゝ

……?
母さんの書斎から
明かりが……



母さん!?

あーっ

はーっ

はーっ

あーっ

オマンコっ ♡

ダメ…… ♡
こんなことっ ♡

あーっ

ぬちゅ ♡
ぬちゅ ♡
ぬちゅ ♡

ぬちゅ ♡

ぬちゅ ♡



おっ ♡

はーっ

疼きがつ ♡
止まらないのっ ♡

あーっ

リックは
リーネの痴態を
目にしてしまいます





怖かったのです……

坊やに……

嫌われて
しまうのでは
と……



坊やに……

軽蔑されて
しまう……



夜な夜な
淫らな行為に
耽っている……

いやらしい
母の本性を
知られては……



お願い……
このことは
忘れて……

母とは
今まで通り



忘れること
なんて
できないよ

それに
俺が母さんのことを
嫌いになるだって？

むしろ
俺は嬉しかったよ



母さんが
俺と同じ気持ち
だったんだから

甘めは
これだけ
もっ...



俺だって
母さんと

もっと
愛し合いたいと
思ってたんだ!



こんなっ♡
哀れな母を
求めてはっ♡

母は坊やに
甘えきって
しまいますっ♡

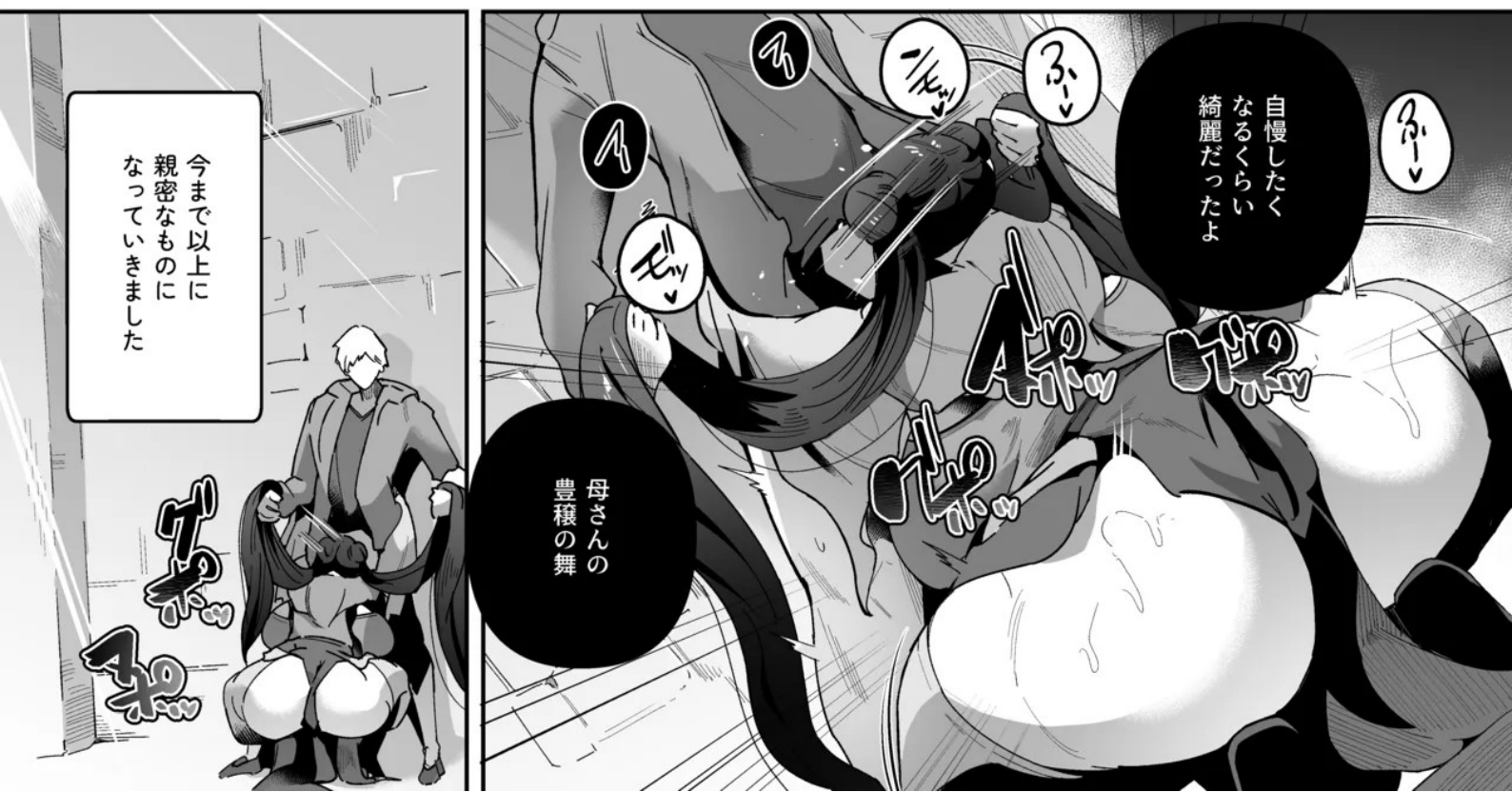
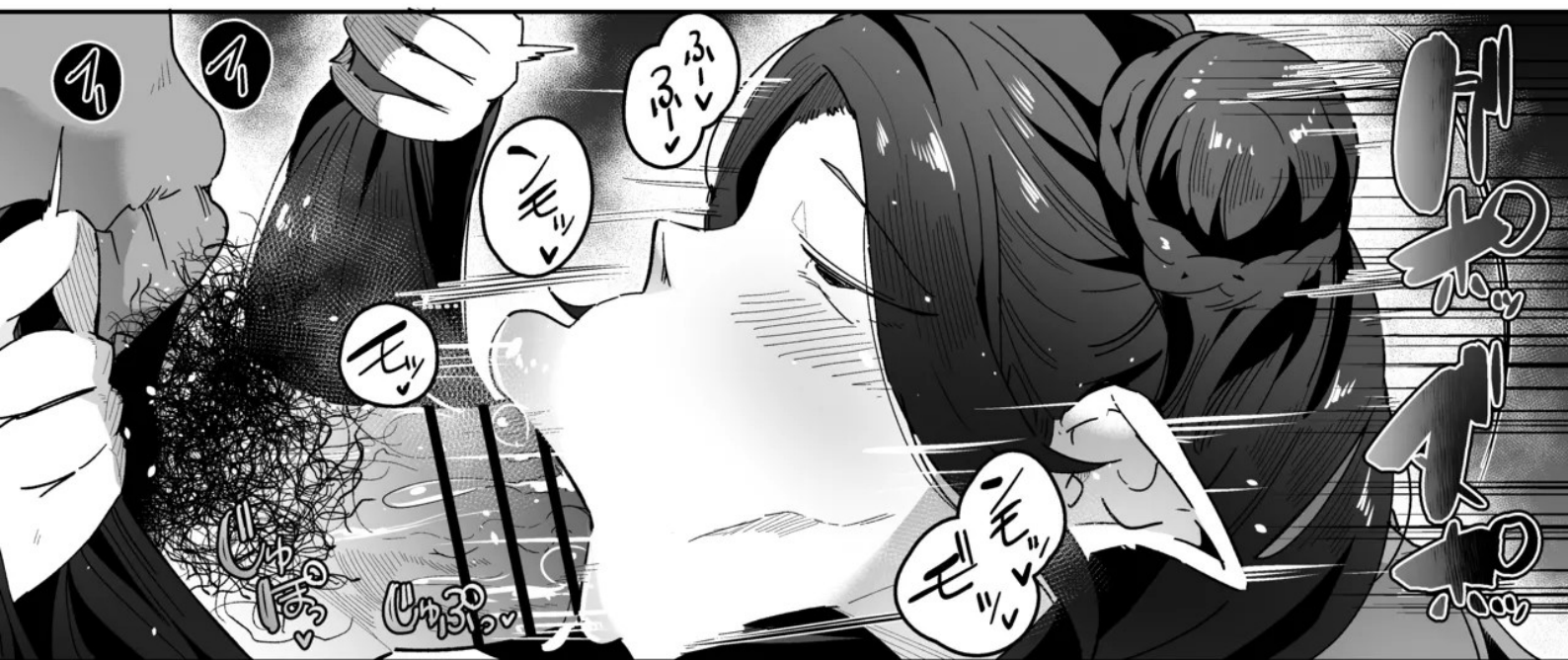
抑えきれなく
なって
しまいますっ♡♡



お互いの本心が
垣間見えた
あの夜以来――



リックとリーネの
関係は





リーネは
抑え込んでいた
淫らな欲求を

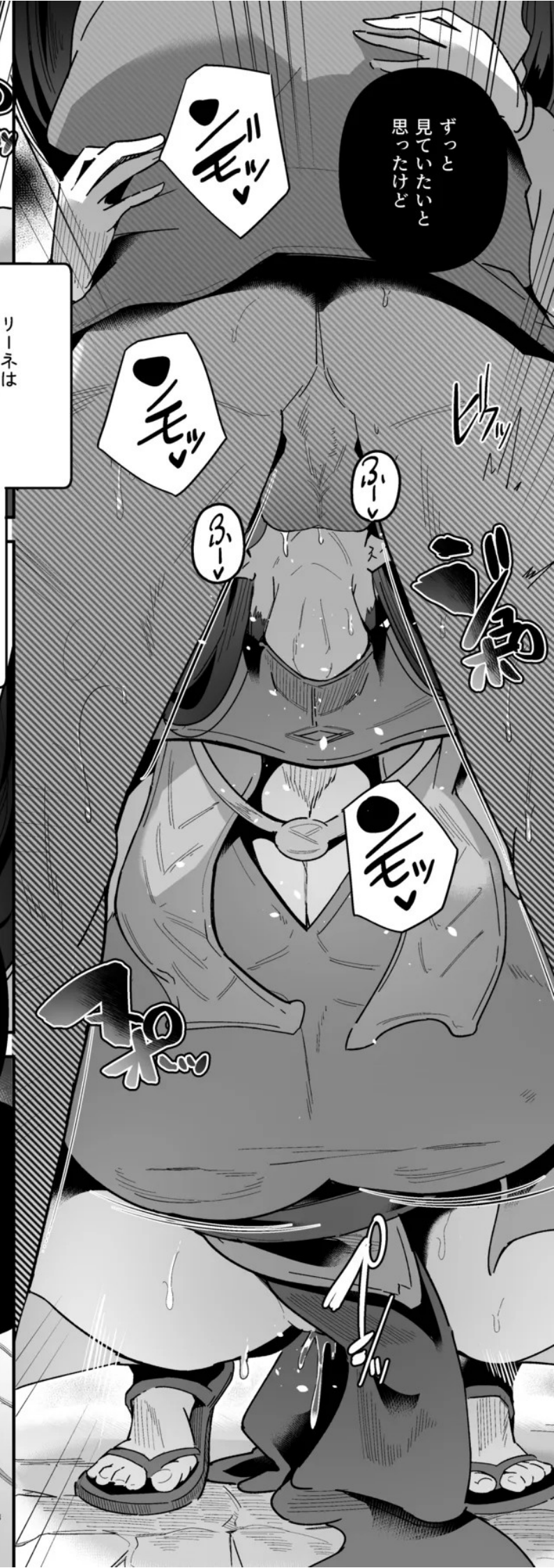


リックに
隠すことも
なくなりました



でも
今の母さんの
下品な顔の方が……

今の
俺にとっては……



ずっと
見ていたいと
思ったけど



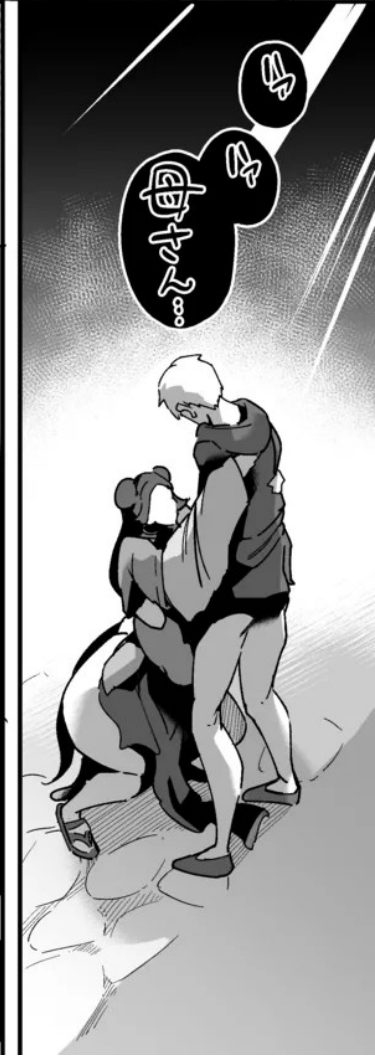
母さんに……
全部
搾り取られる……



それに
伴って



リックとリーネの
性行為の内容は





淫らな母の
不浄の穴はっ♡



か、母さん
激し……

これでは
足りませんっ♡



坊やからの
徹底的な
戒めをっ♡



欲して
いるんですっ♡

より濃密なものへと
変わり始めました



こんなにも
硬く反り返る
なんて……♥

母の髪で
愉しめているようで
嬉しく思います……♥

むしろ
快く
受け入れたのです



坊やが望むなら
いつでも

いつもより……
濃くて……
熱い……♥

エルフの
しきたりー

はー
はー



また
坊やに...

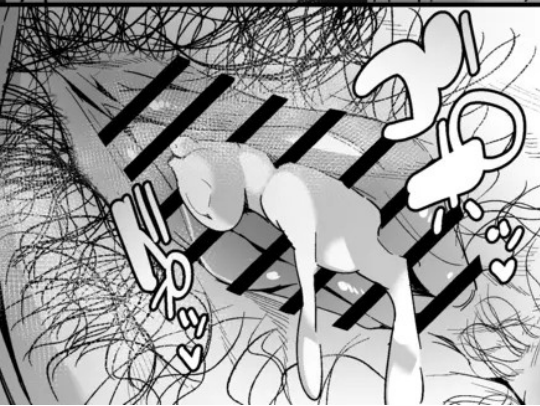
晒して
しまっただ...

それは
相手を
深く知る行為

強い欲求を
曝け出す度に
実感しました

そしてー

母の...
淫らな姿...



リックとリーネは
その意味を



坊や……

そろそろ
おいたもお終いの
時間ですよ……♡



あ……

……はあ
はあ

はあ

夜ふかしは……♡

いけません……♡

もぞもぞ

もぞもぞ

もぞもぞ

あ……

もぞもぞ

もぞもぞ



母さん……

あらあら……♡



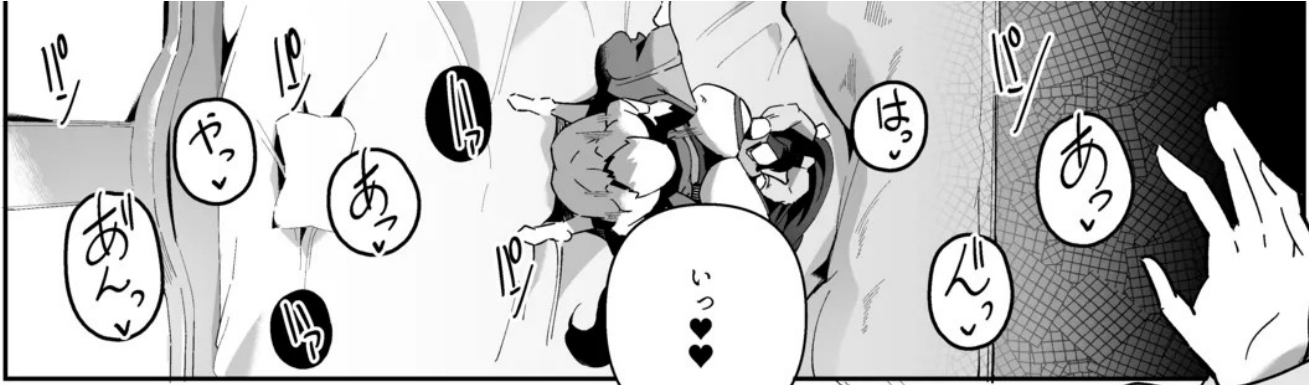
母さん♡

もっとなんか
甘えんぼ
したいのなら……♡

しましうか……♡♡

母の寝室で
今日も一緒に
「おねんね」……♡

たてたて♡



だって
それでも
しないっ



俺のものに
できないっ

母さんのこと

親として
女性として……



母さんが
好きなんだっ！

だから今日こそ
母さんのことを……

ああっ



本当に……

本当に
母でいいのですか

はー

はー
はー

こんなにも
ふしだらな
母と……

親子以上の関係を
求めるのであれば……



もう
後戻りは——

俺はっ！

あ？
や？



母さんが
いいんだっ

はっあーん

あーん

あーん



母さんじゃなきや
イヤだっ

あーん

あーん



坊やの
想いを前に……♡

母は臆病に
なりすぎていた
みたいで……♡

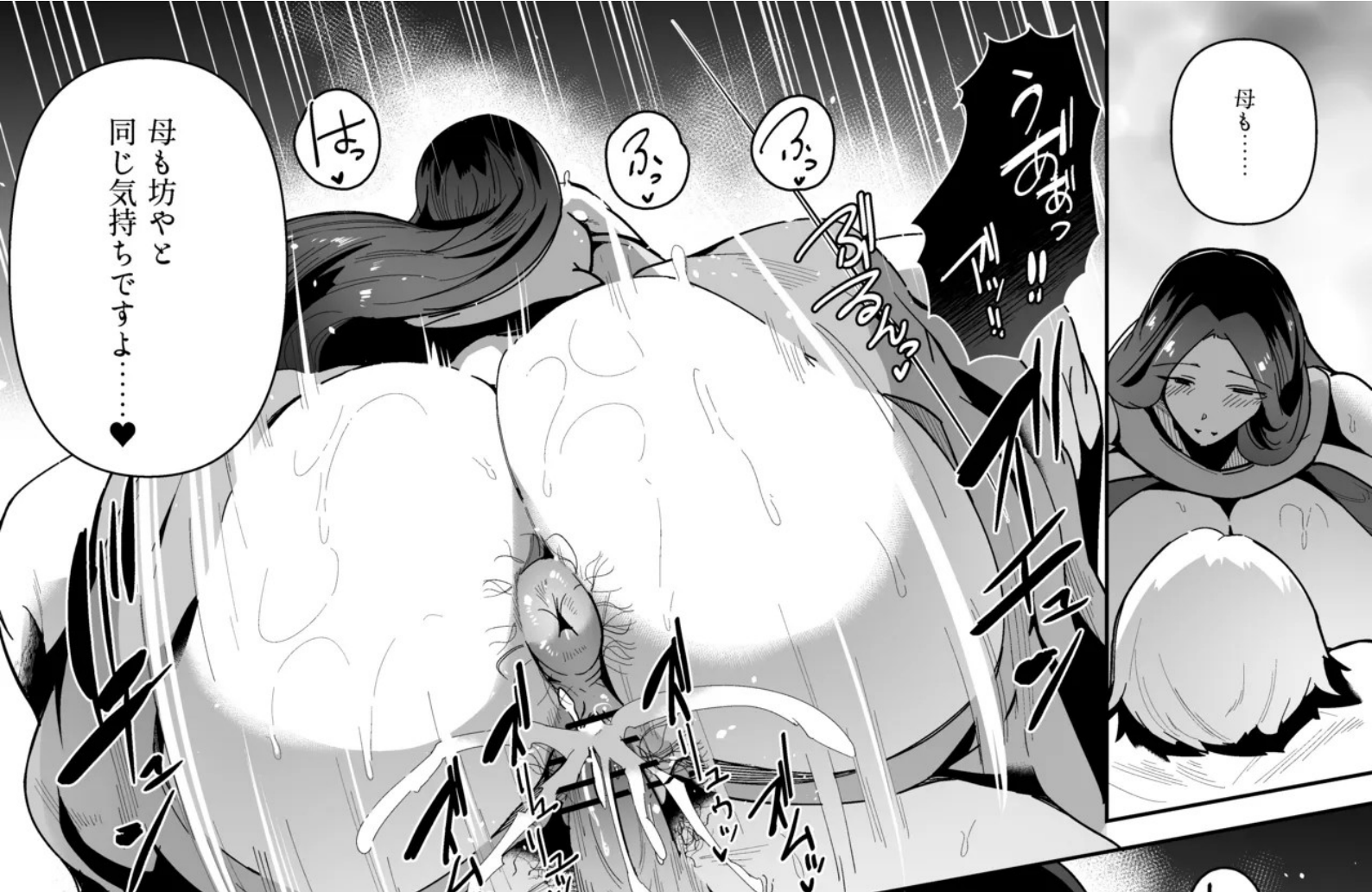
はっあーん

ありがとう……♡



だから……

あーん



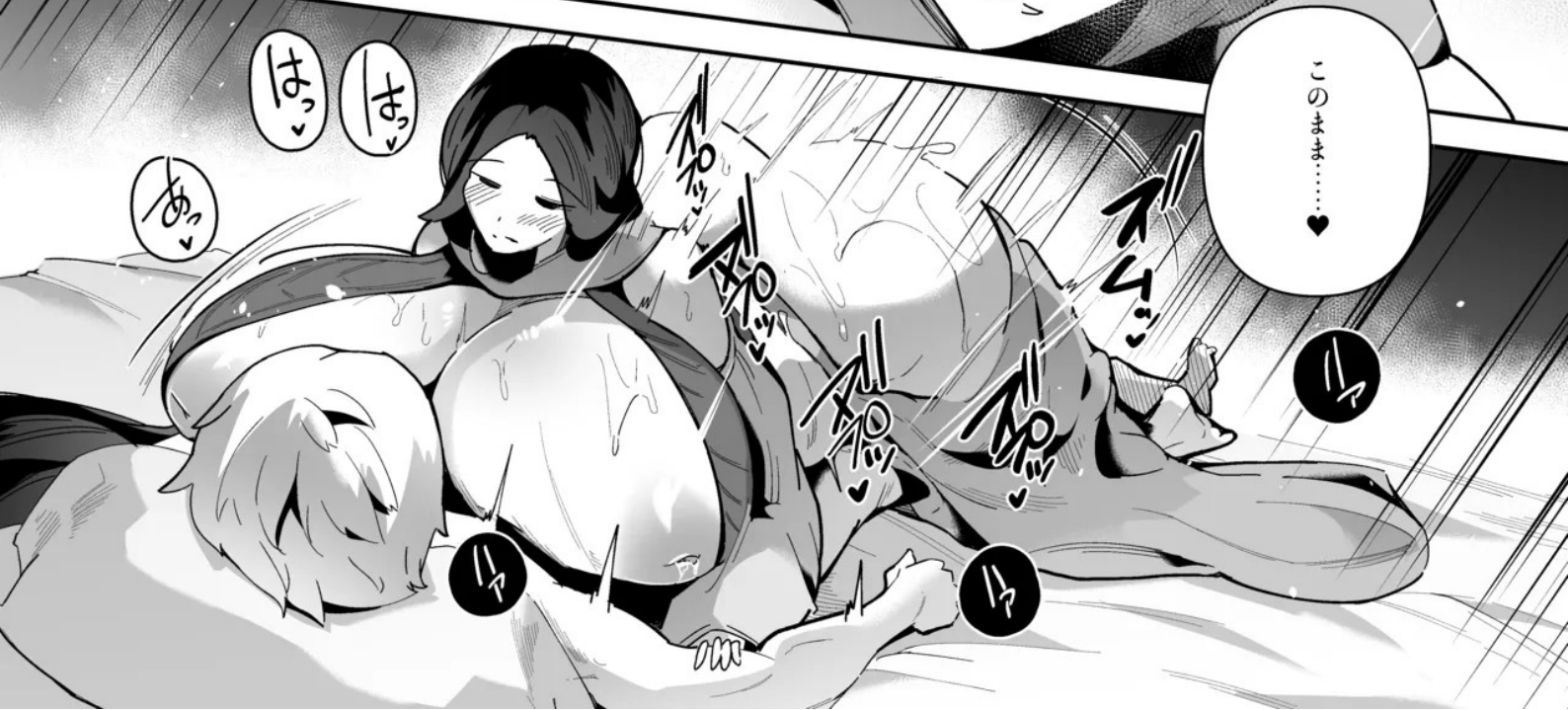
母も坊やと
同じ気持ちですよ……♡

母も……



だから
一緒に……♡

はっ
はっ



この気持ち……♡

はっ
はっ

はっ

はっ

はっ



あーあーあー

あー!!

アッ!!

クッ

クッ

ア

ア

ア

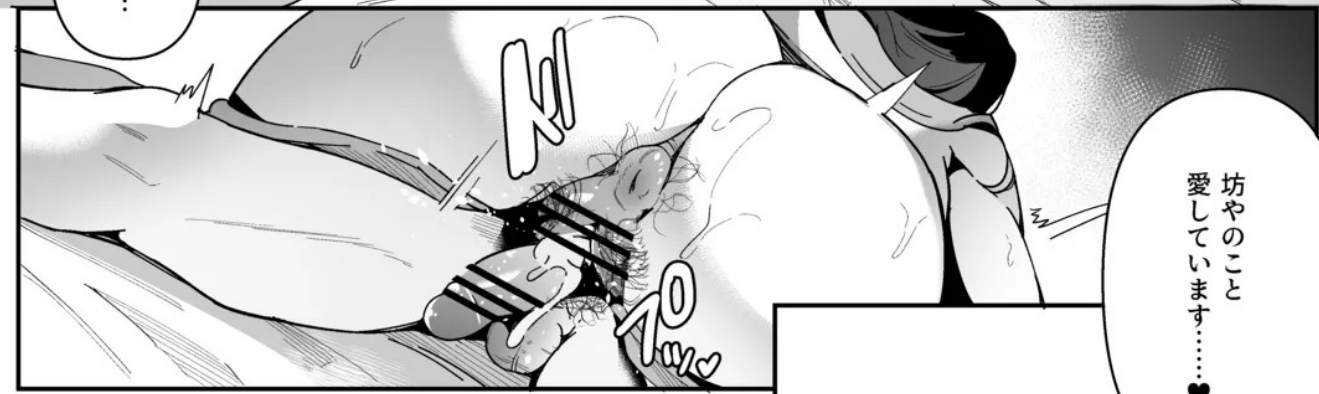
ア

クッ

クッ



母も...



坊やのこと
愛しています...♡



お互いの
想いを知り



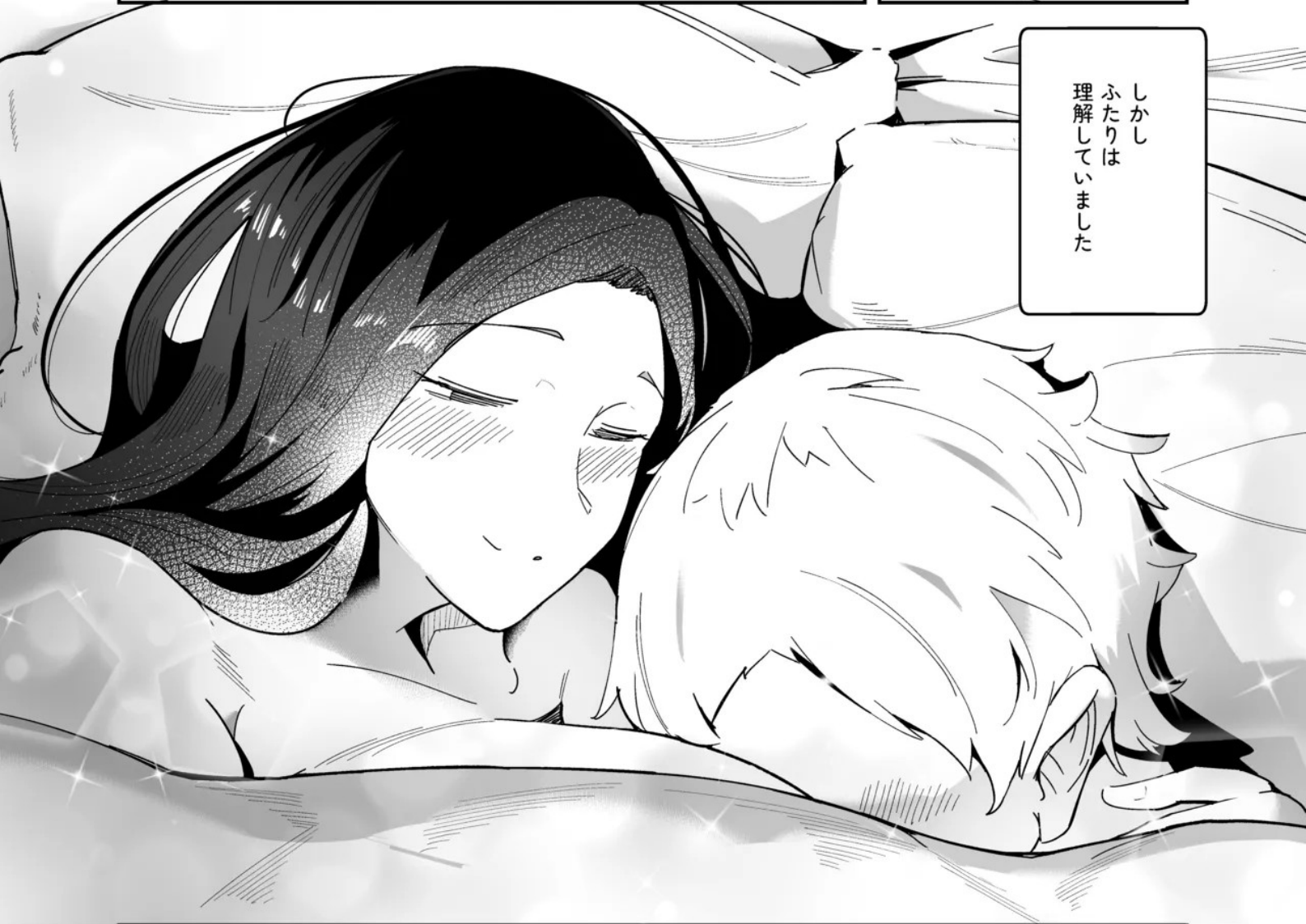


エルフのしきたりを
終えるには
もう少し時間
かかりそうです

とはいえ、
そのすべてを
さらけ出したとい
うわけではありません



そして
受け止めた
リクとリーネ



しかし
ふたりは
理解していました



これからもっと
深く信じ合える



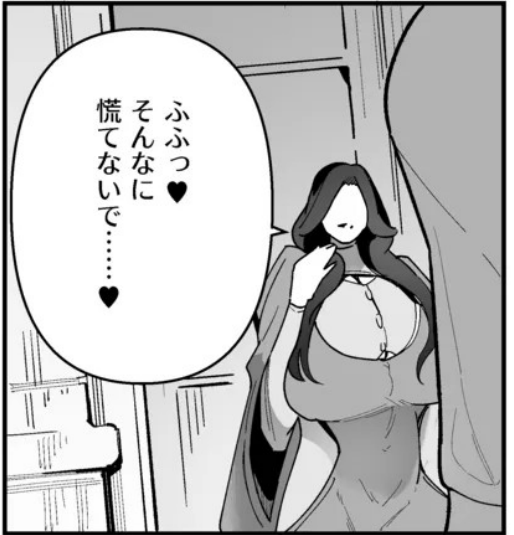
そして
愛することが
できるよ

待ってよ
母さん……



坊やを置いては
いきませんよ♡

で、
でも……



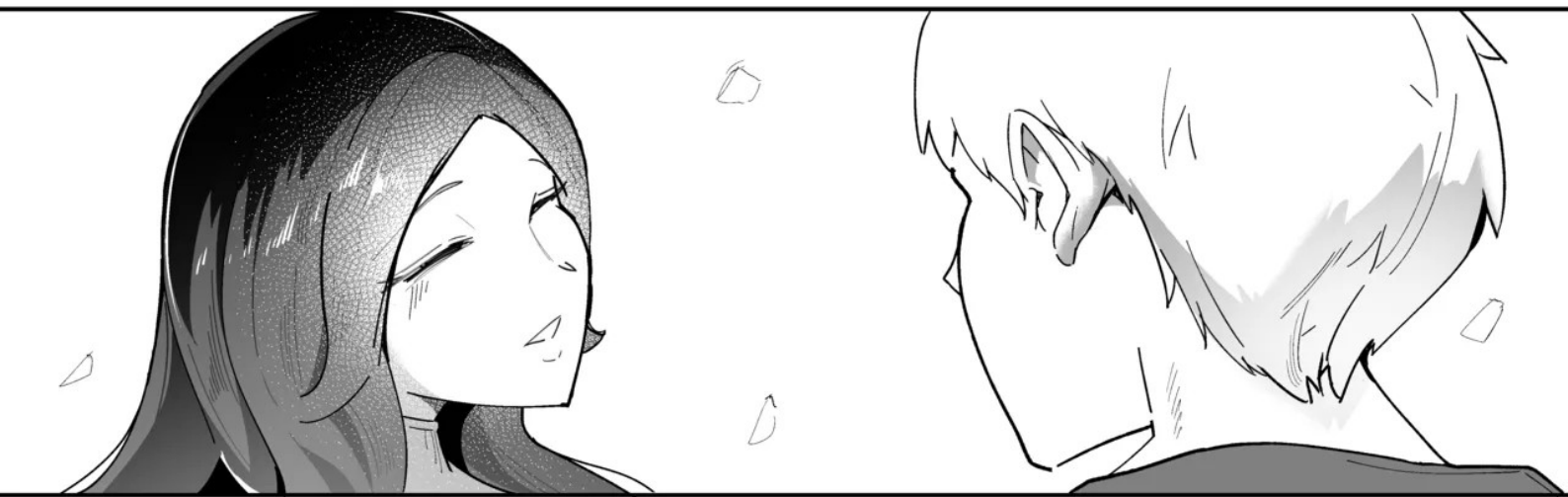
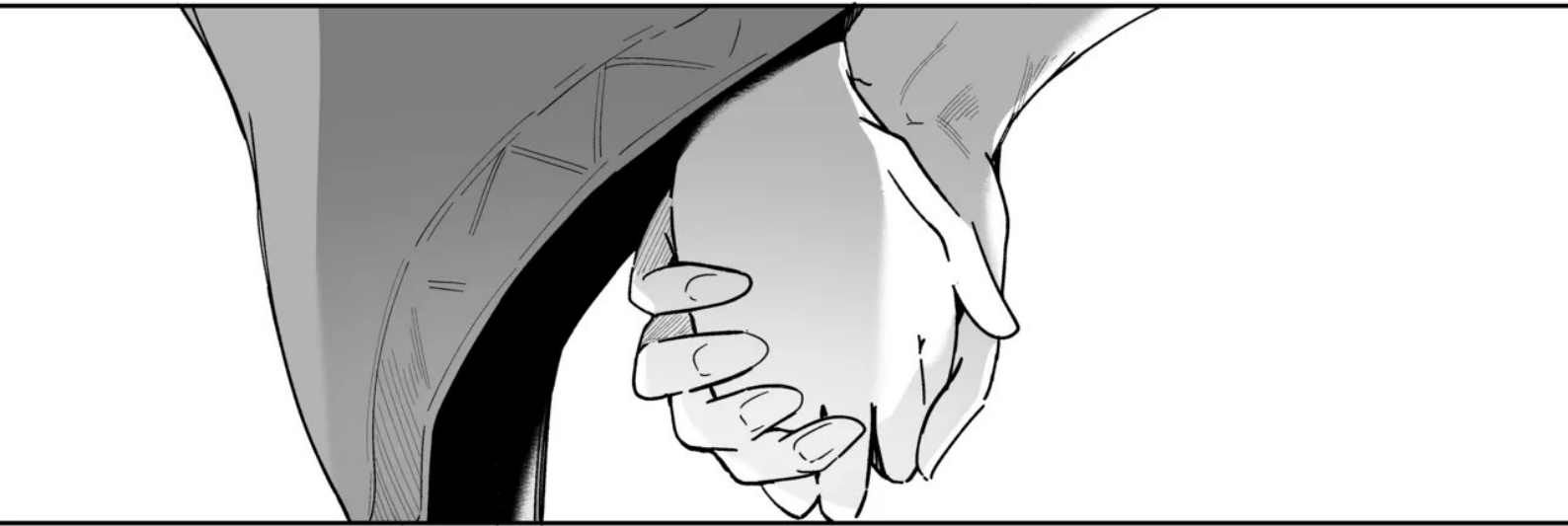
ふふっ♡
そんなに
慌てないで……♡



さあ……
母の手を
とって……♡



それでは
参りましょう……♡



その後のこと



◆ 気持ちも整理できたことでリーネの行動はより積極的に、そして大胆になっていきました。

◆ 最近では「ご奉仕すること」に恥じらいながらも喜びと幸せを感じています。

あとがき

久々の同人漫画です。今回のネタは、前作のあとがきで四つほど挙げた候補の中の一つである「おばさんもの」...から転じての「養母」です。いろいろ凝ったことやろうとして時間がかかった気がします。

次はページ数少なめのシンプルな作品になるかもしれません。

余談ですが昨年、初単行本である「性交交差点」が発売されました。興味がある方はこちらもよろしくお願いします。

奥付

タイトル： エルフの養母～愛するママとエッチなしきたり～

のうむさい

サークル： 濃霧菜

著者： ミヤシロヨースケ

Twitter： @y_mysr

連絡先： y-mysr@outlook.jp

・18歳未満は、この作品を購入・閲覧しないでください。
・この作品の無断転載や、複製・共有はしないでください



エルフの養母

～愛するママとエッチなしましたり～

成人向け

あるところに
リーネという
ハイエルフと

あら……♡

おかえりなさい♡

母さん
ただいま

頼まれてたヤツ
もらってきたよ

まあ……♡

いつもいつも
ありがとう♡

リックという
ハイエルフの青年が
共に暮らしていました





……き、
気になくても
いいよ

俺が
やりたくて
やってるだけだし

いいえ……

ふたりの間に
血の繋がりはなくとも
実の親子のように

私には
わかります……



坊やの
優しさ



ありがとう ♡

私への
気遣いが……

仲良く
暮らしていました



俺、この後
母さんと

大丈夫……♡

全てを
口に出さずとも

坊やのことなら
何でも
分かります……♡

だから先に戻って
坊やの部屋で
待っていて……♡

か……


母さんっ



すぐに
私も部屋へ
向かいますから……♡


幸せな毎日に
訪れた転機

それは
リックからリーネへの
ある「お願い」が
きっかけでした




愛する者同士が
お互いを
深く知るために


「性行為を行うという
「エルフのしきたり」



リクはその相手を
養母であるリーネに
お願いしたのです




その申し出に
リーネは
戸惑ったものの――



……
わかりました

母も
初めてですが……



共に
頑張りましょう……♡



穏やかな
日々の中で

それから
というもの

ハッ
母さん...



坊やのこと……
包みこんで
あげますから……♡

恥ずかしいこと
なんか
ありませんよ……♡

情熱的なひと時も
過すように
なりました



ハッ

ハッ



あらあら……♡



ごめん、母さん……
もうこれ以上
されたら――



坊やの
ねばねば
真っ白おし♡♡



それなら
母の
お乳オマンコで♡



受け止めて
あげないと
いけませんね……♡

ハッ♡



常に
献身的な
リーネの姿は

あ……♡

坊やの白蜜が
こんなに……♡



いつ果てても
いいですからね……♡



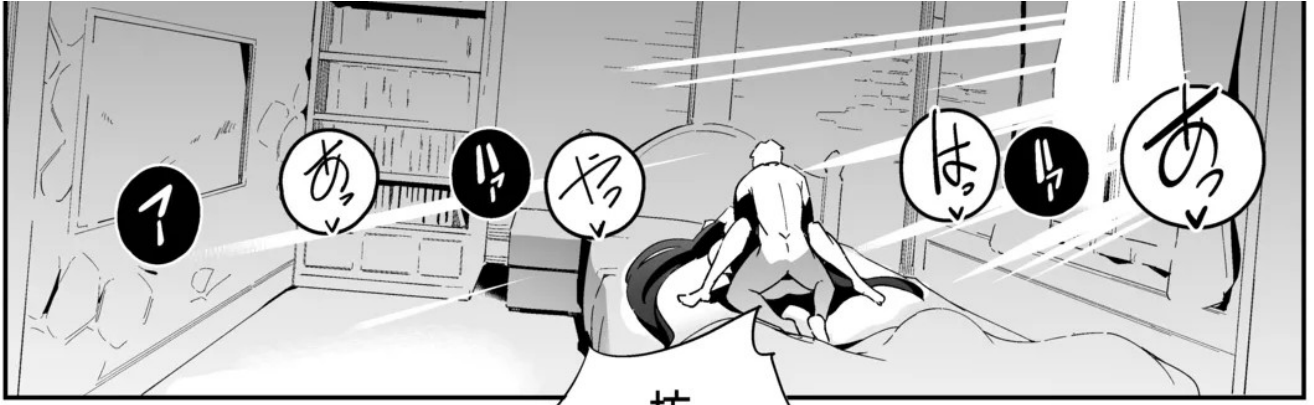
リクにも
伝わり

坊やの滾り汁で
いっぱいです……♡

母の乳房が……♡







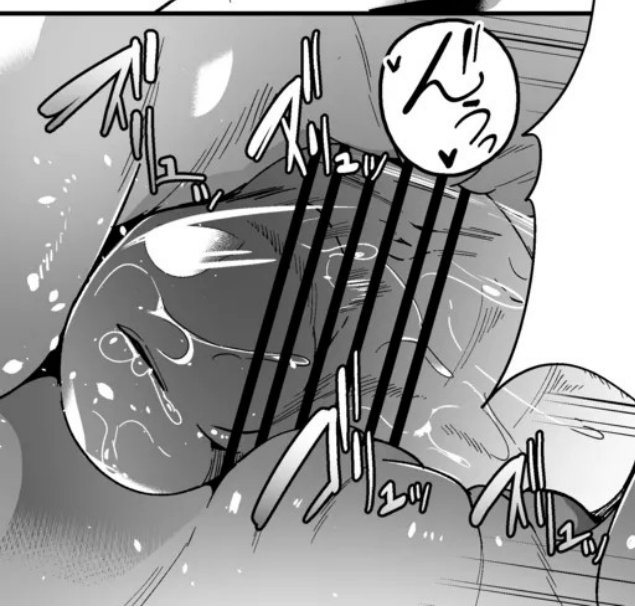
坊やの肉竿っ♡



オマンコの
中をっ♡



ほじくり回っっ
きますっ♡



毎日、毎日……

はー

あー

坊やがっ♥
こんなにも
求めてくれて……♥

母は嬉しく
思います……♥

はー

はー

今朝も
起きてすぐに

慌ててはっ♥
いけませんっ♥

あー

はっ
はっ

あれだけ
励んで
いましたから……♥

坊やは
まだっ♥

目覚めたばかり
なのですからっ♥

はっ

はっ

はっ



母さんのこと
もっと
知りたくて……



ガマンせず……♡

それなら
もっと挟って……
母の奥の
お部屋に……♡

いいんですっ♡



あぁっ♡

アハハハ♡

ふっ♡

ふっ♡

びゅん♡
しましろう♡

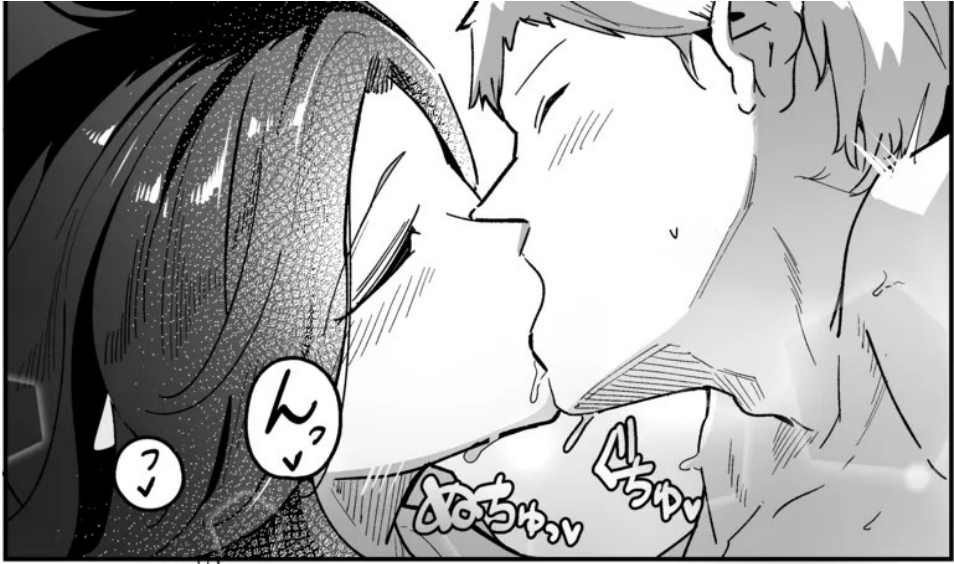
感じます……♡

坊やの
キモチが……♡

あー♡

あー♡

あーっ♡
あーっ♡





——いつも
言い聞かせていますが

また相手して
ほしいとき

いつでも
母へ伝えること……

遠慮せずに……
いいですね？

……か



母さんも！

母さんも
俺に……
その、頼んでいいから

……はこ♡

その時は
お願いしますね♡

それは
リクにとって
気がかりなことでも
ありました

しかし

リーネが
リクへと頼むことは
一度もなく

……
喉乾いたな

しかし
ある日の夜――

それに……
この声……!?

……?
母さんの書斎から
明かりが……



母さん!?

あー

はー

あー

あー

オマンコっ♡

ダメ……♡
こんなことっ♡

あー

あー
はー

あー
はー

あー
はー

あー
はー



あー

はー

疼きがつ♡
止まらないのっ♡

リックは
リーネの痴態を
目にしてしまいます

あー



母さんが...
あんなに
激しく.....!



初めて見る
リーネの自慰

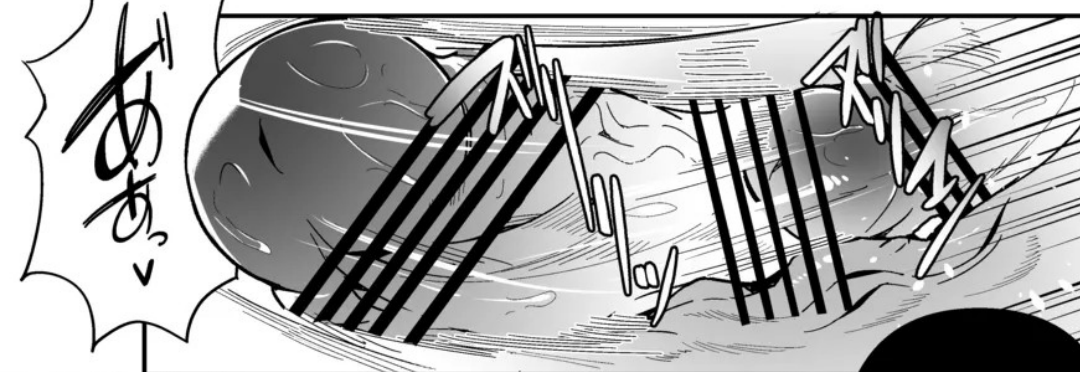
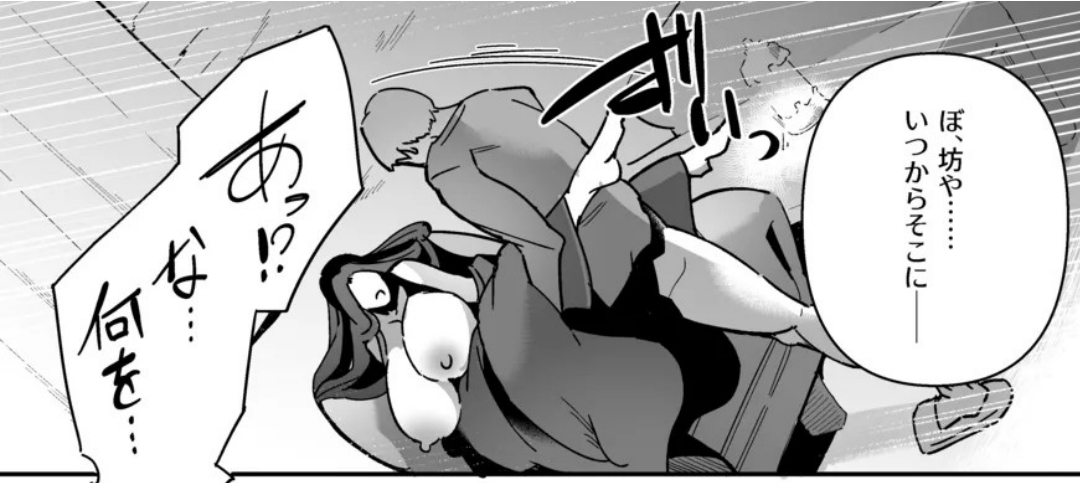


リクは
目を離すことが
できません



母さんは
ああやって.....

下品に
オナニーを.....





怖かったのです……

坊やに……

嫌われて
しまうのでは
と……



坊やに……

軽蔑されて
しまう……



夜な夜な
淫らな行為に
耽っている……

いやらしい
母の本性を
知られては……



お願い……
このことは
忘れて……

母とは
今まで通り





アハハハ



母さんが
俺と同じ気持ち
だったんだから

甘め、
これだけ
もっ...



もっと
愛し合いたいと
思ってたんだ!



俺だって
母さんと

はー
はー
んまっ



抑えきれなく
なって
しまいますっ♡♡



こんなっ♡
哀れな母を
求めてはっ♡

母は坊やに
甘えきって
しまいますっ♡



母さん……

もう
遠慮しなくても
いいんだよ

あ……
は……

あ……
あ……

あ……

あ……

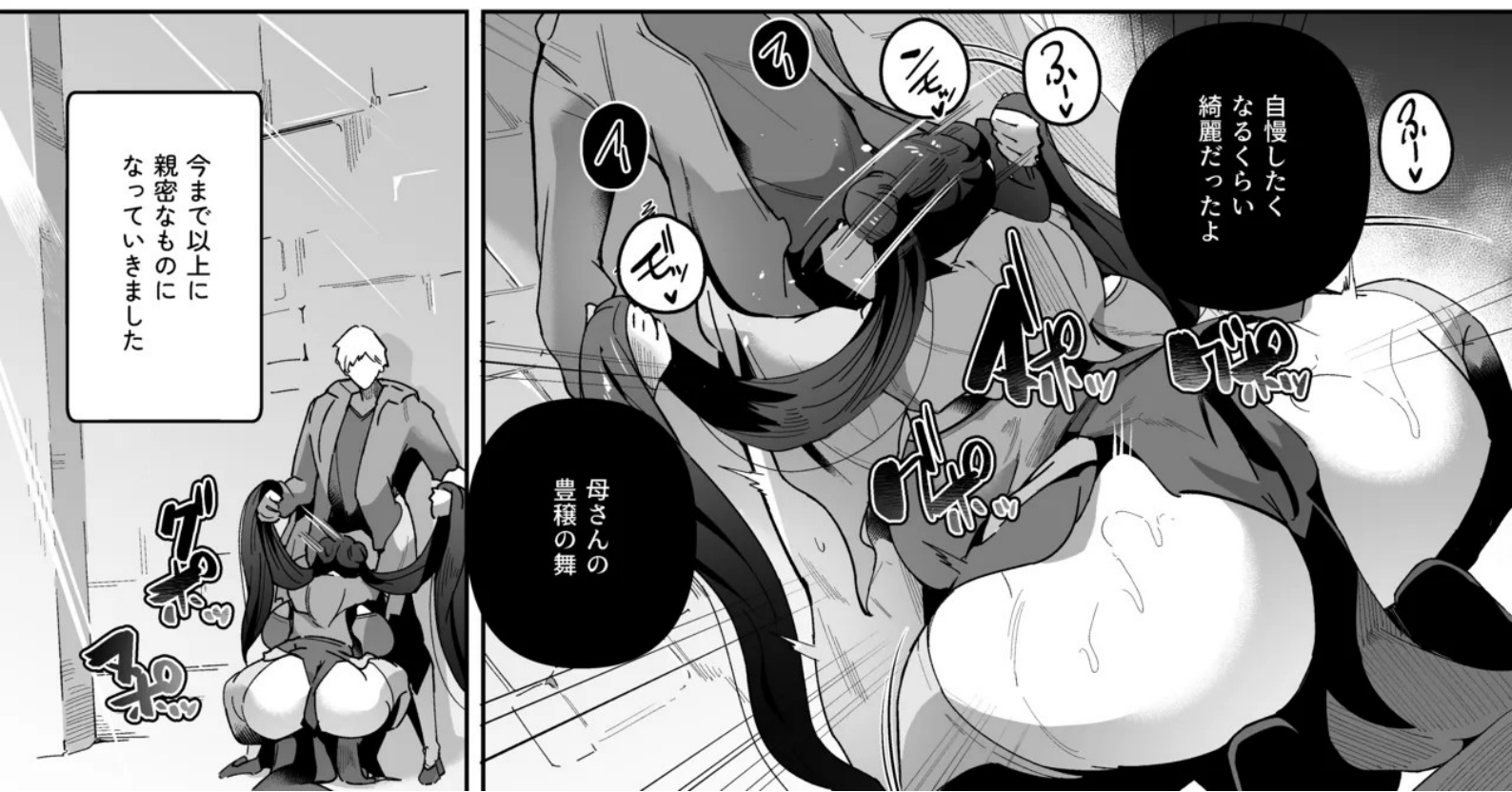
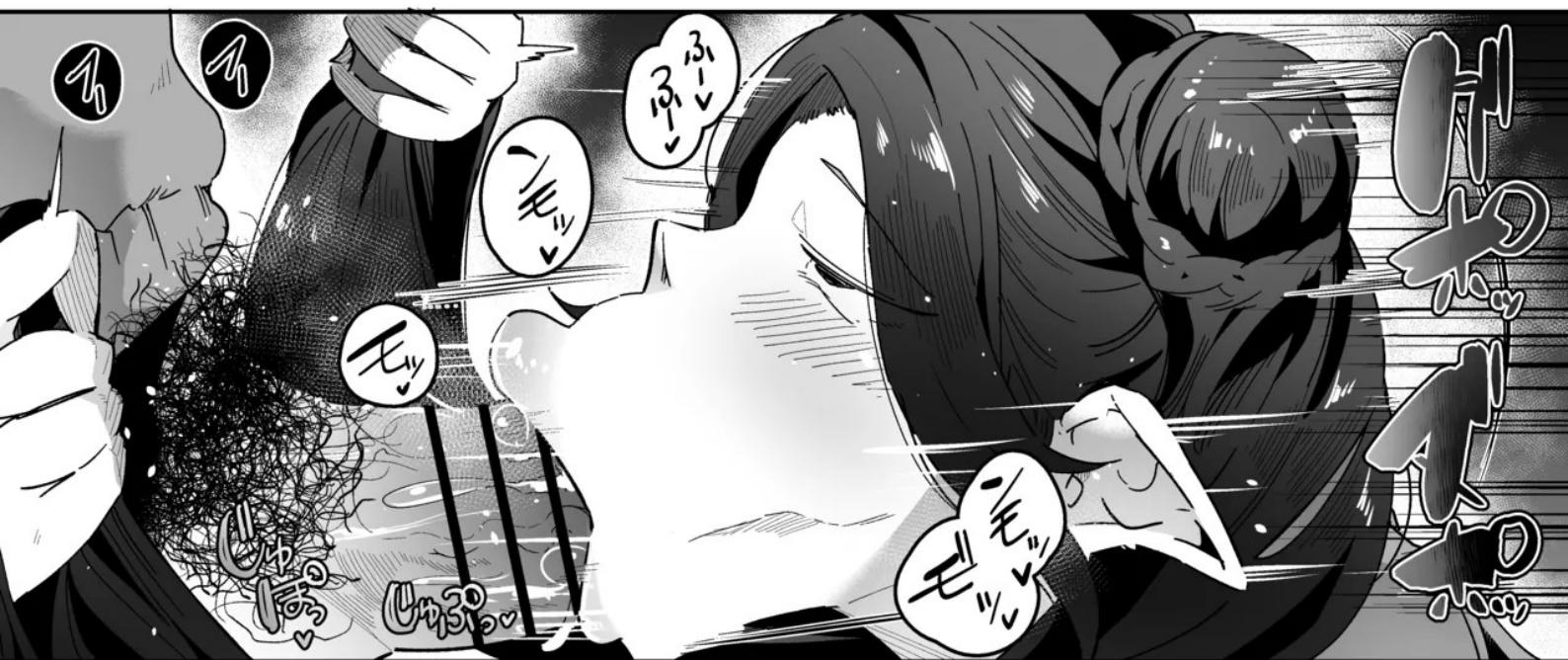
俺も母さんのこと
もっと
知りたいんだから



お互いの本心が
垣間見えた
あの夜以来――



リックとリーネの
関係は



傲慢したく
なるくらい
綺麗だったよ

母さんの
豊穣の舞

今まで以上に
親密なものに
なっていました



リーネは
抑え込んでいた
淫らな欲求を

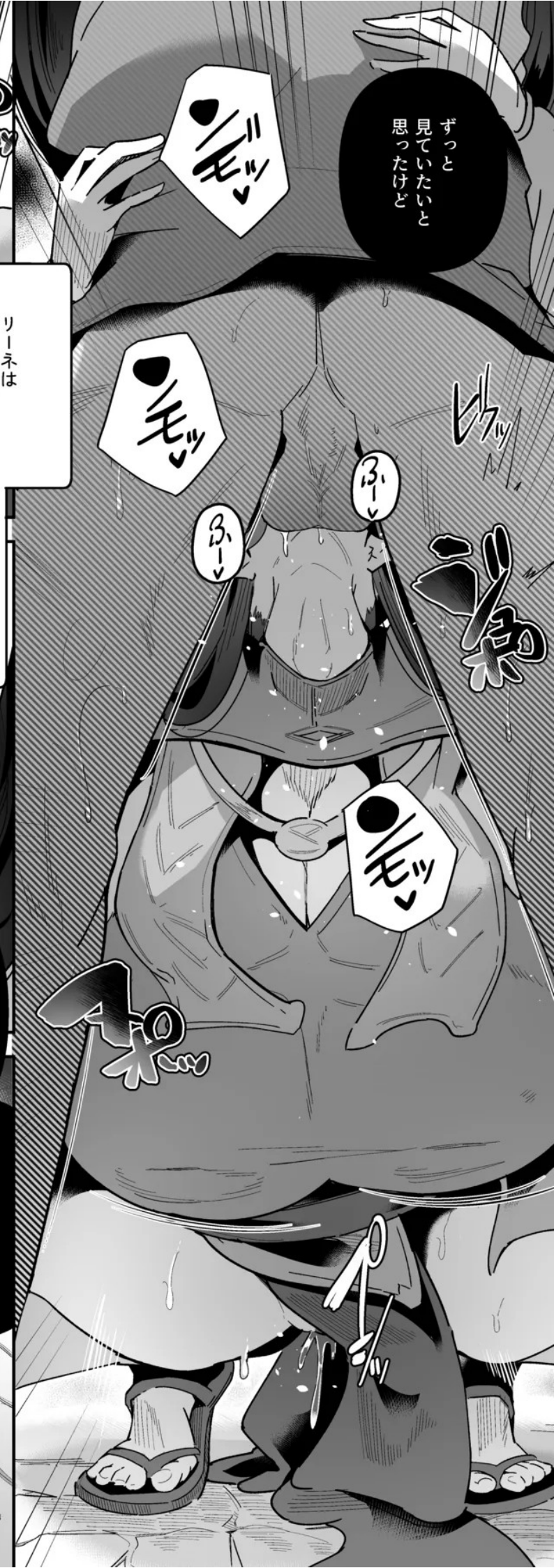
リクに
隠すことも
なくなりました



でも
今の母さんの
下品な顔の方が……



今の
俺にとっては……



ずっと
見ていたいと
思ったけど



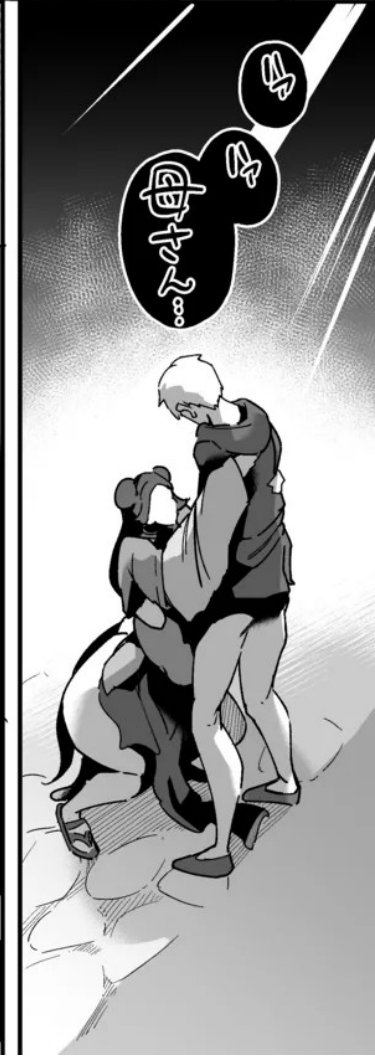
母さんに……
全部
搾り取られる……



それに
伴って



リックとリーネの
性行為の内容は



はあ
はあ



こんなにも
硬く反り返る
なんて……♥

母の髪で
愉しめているようで
嬉しく思います……♥

むしろ
快く
受け入れたのです



坊やが望むなら
いつでも

いつもより……
濃くて……
熱い……♥

エルフの
しきたりー

はー
はー



また
坊やに…

晒して
しま…

それは
相手を
深く知る行為

強い欲求を
曝け出す度に
実感しました
そしてー

母の…
淫らな姿…



リクとリーネは
その意味を



坊や……

そろそろ
おいたもお終いの
時間ですよ……♡



夜ふかしは……♡

いけません……♡

あ……

……はま
は……

は……

もぞもぞ

もぞもぞ

もぞもぞ

あ……

もぞもぞ

もぞもぞ



母さん……

あらあら……♡



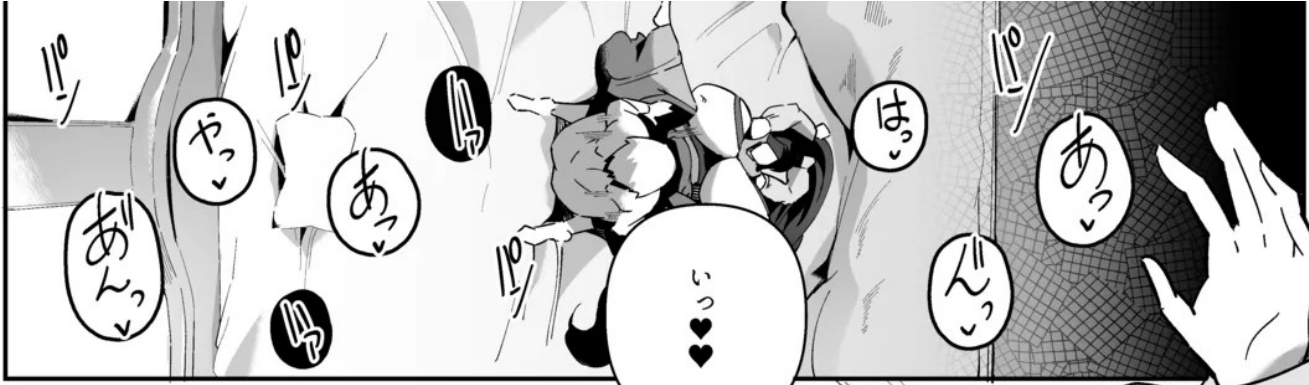
もっとなくさん
甘えんぼ
したいのなら……♡

母さん♡

母の寝室で
今日も一緒に
「おねんね」……♡

しまししょうか……♡♡

おねんね♡
おねんね♡



いけませんっ
寝る前にっ
♡♡

こんなにも
無理矢理で……
乱暴なオマンコっ♡

だって
それでも
しないっ





本当に……

本当に
母でいいのですか

はー
はー

はー

こんなにも
ふしだらな
母と……

親子以上の関係を
求めるのであれば……

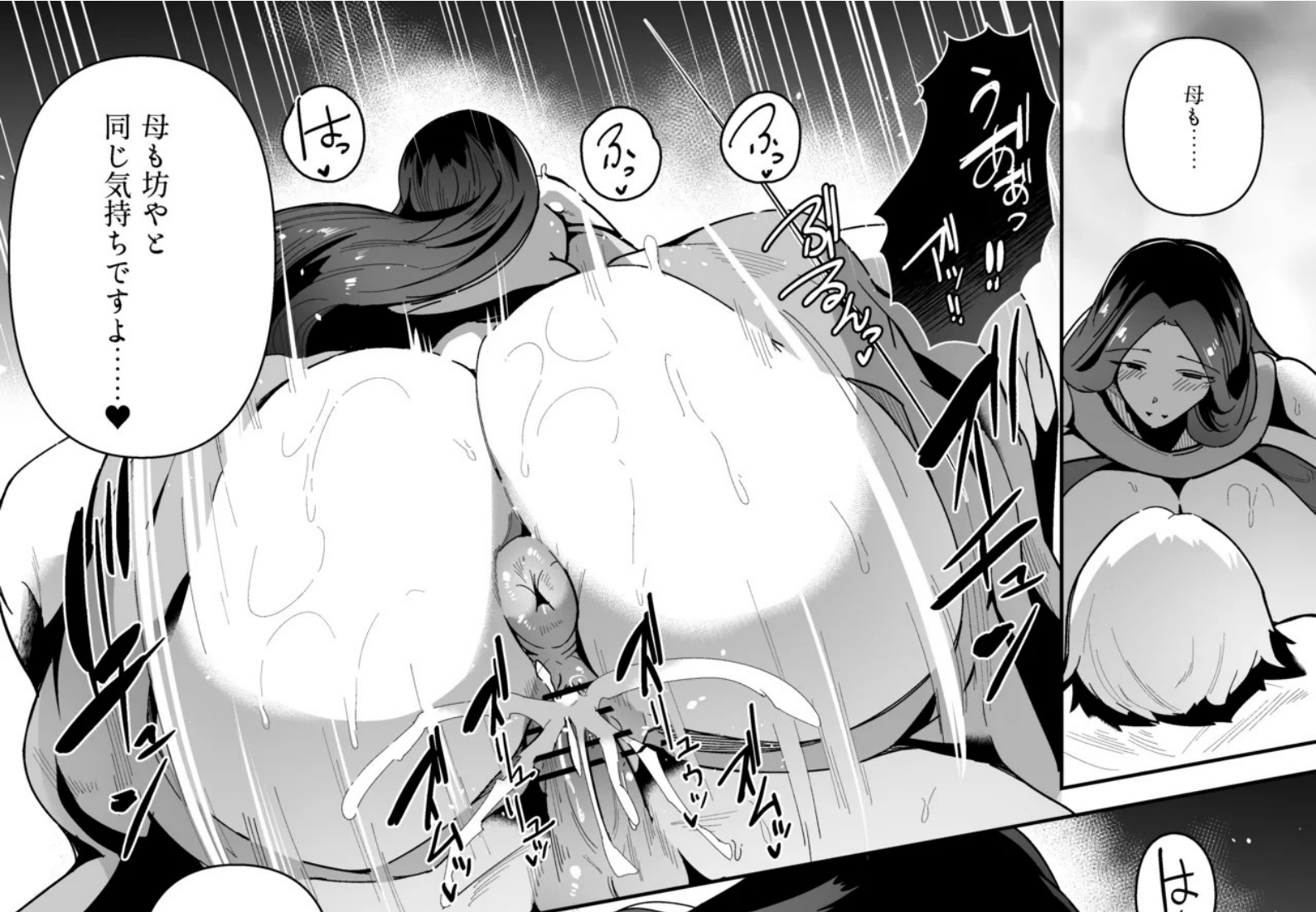


もう
後戻りは——

俺はっ!

や?

あ?



母も坊やと
同じ気持ちですよ……♡

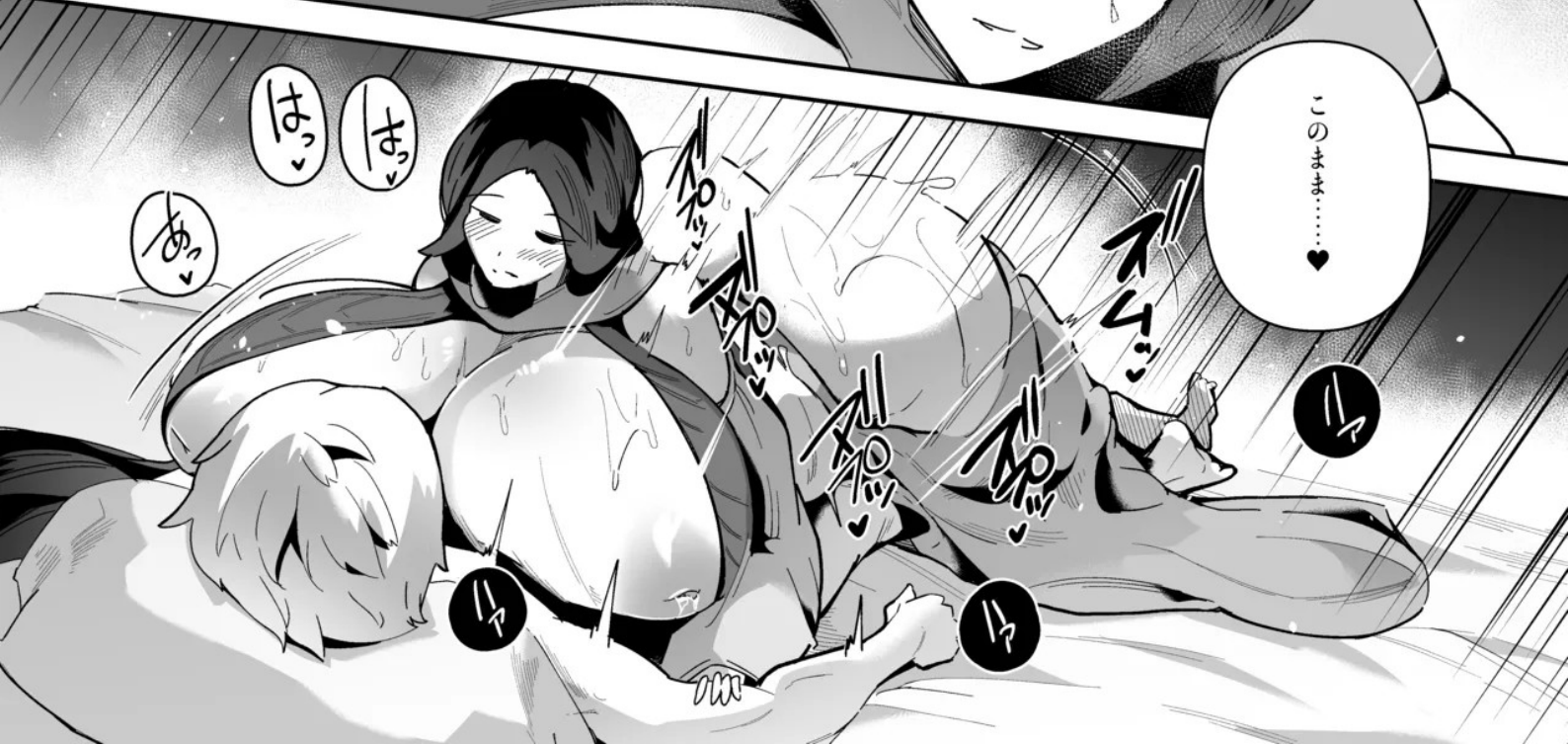
母も……

だから
一緒に……♡



はっ
はっ

このとき……♡



はっ
はっ



あああ

あああ

あああ

アッ!!

クッ

クッ

クッ

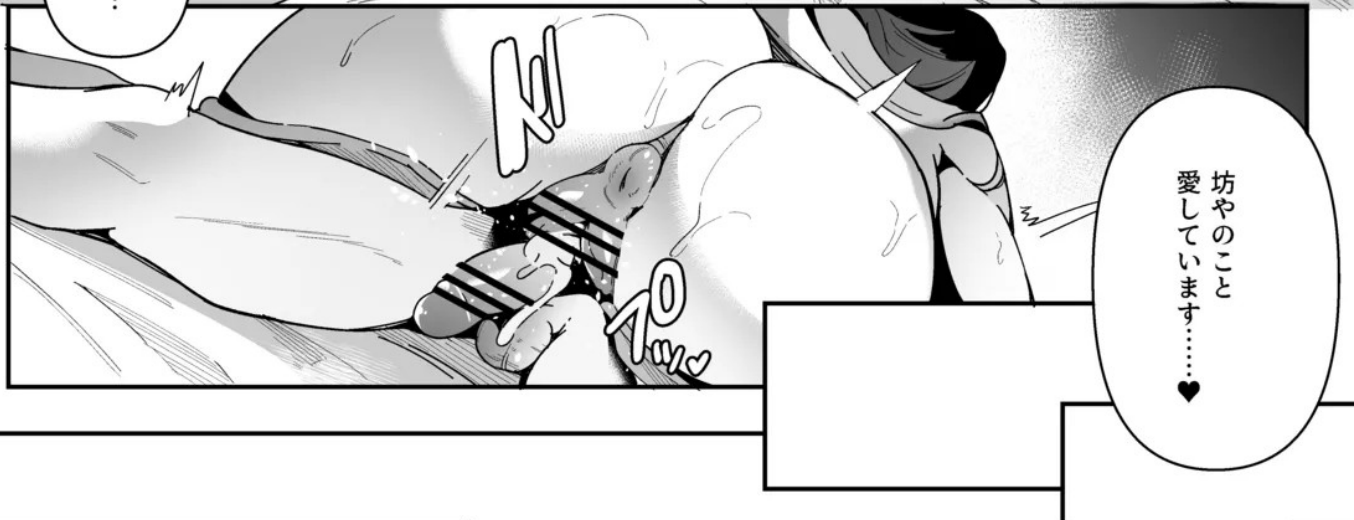
クッ

クッ

クッ

クッ

クッ



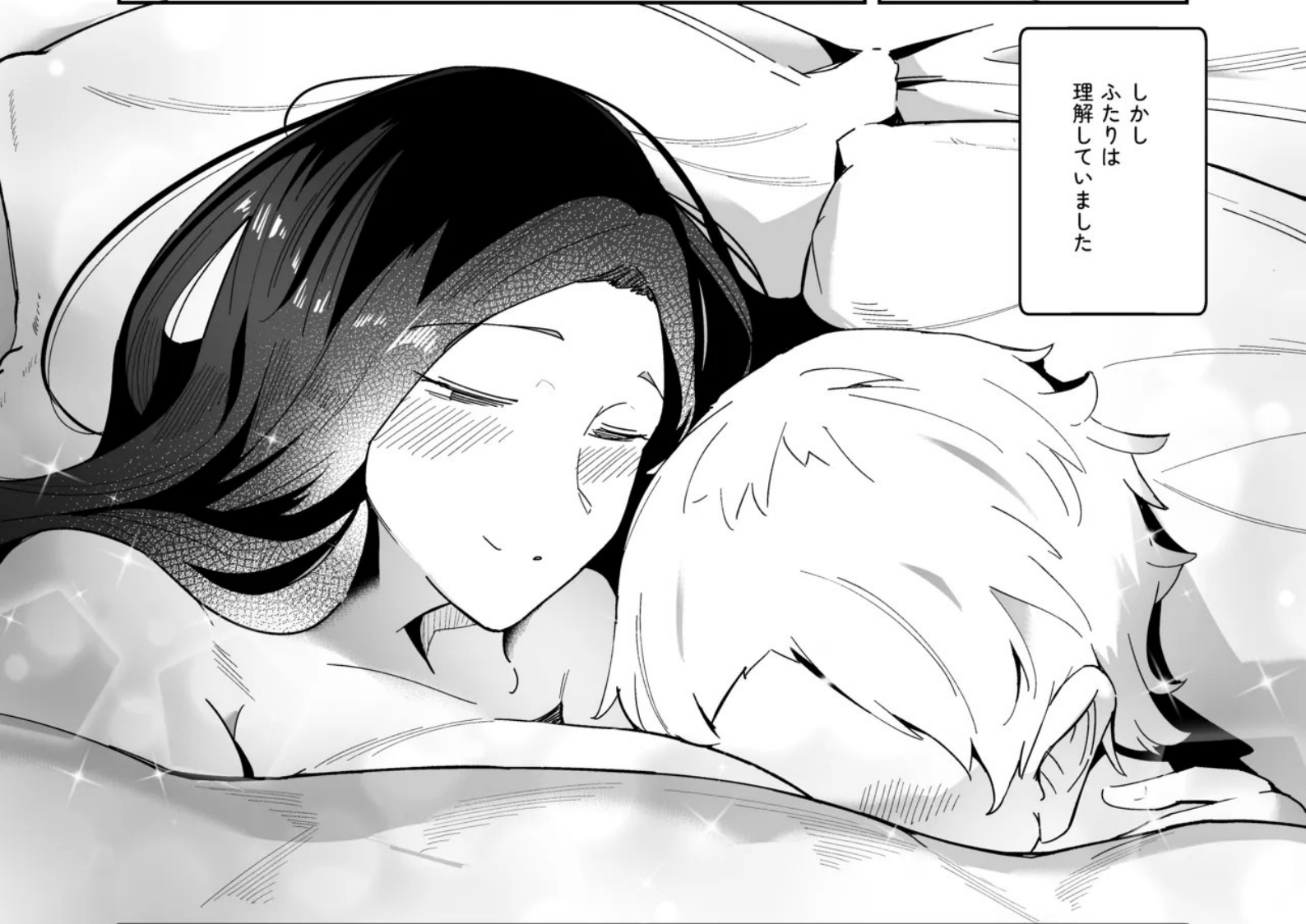


エルフのしきたりを
終えるには
もう少し時間
かかりそうです

とはいえ、
そのすべてを
さらけ出したとい
うわけではありません



そして
受け止めた
リクとリーネ



しかし
ふたりは
理解していました

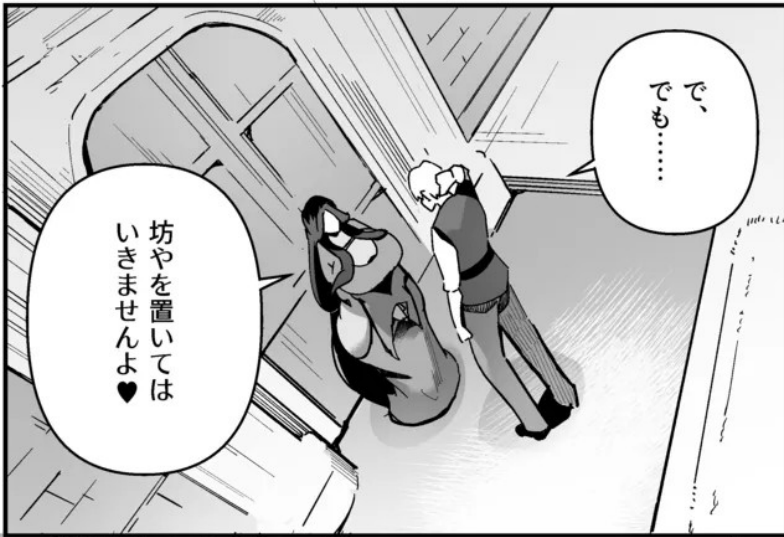


これからもっと
深く信じ合える



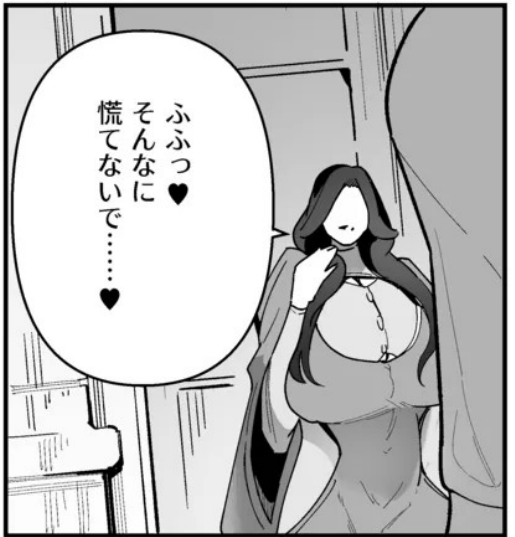
そして
愛することが
できるよー

待ってよ
母さん……



坊やを置いては
いきませんよ♡

で、
でも……



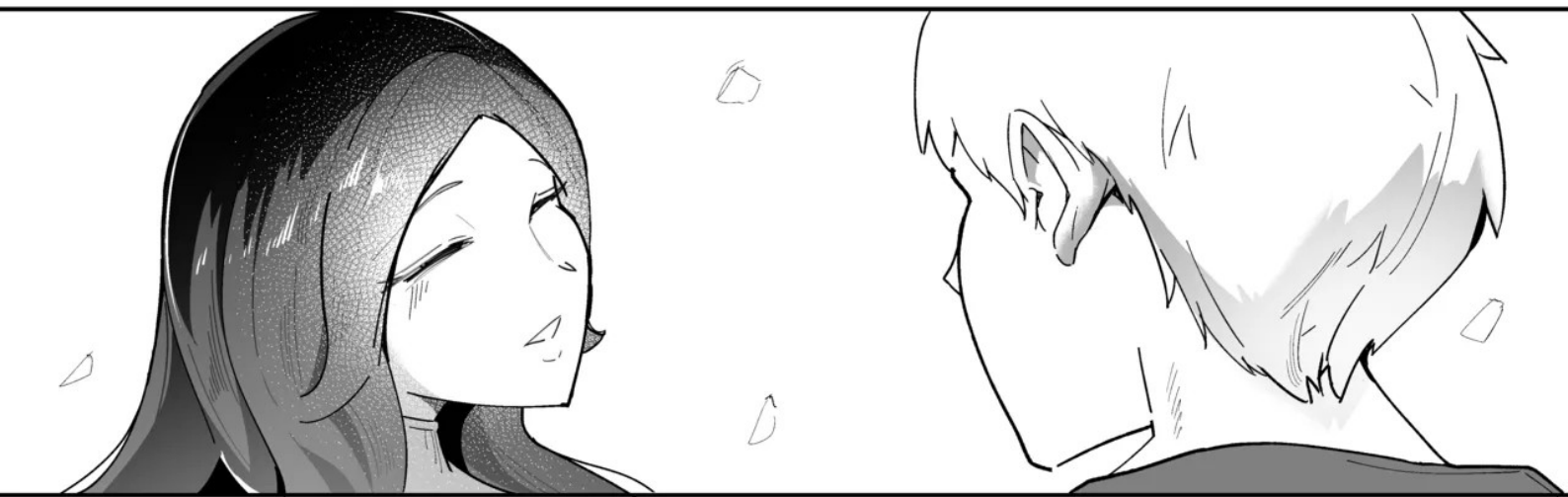
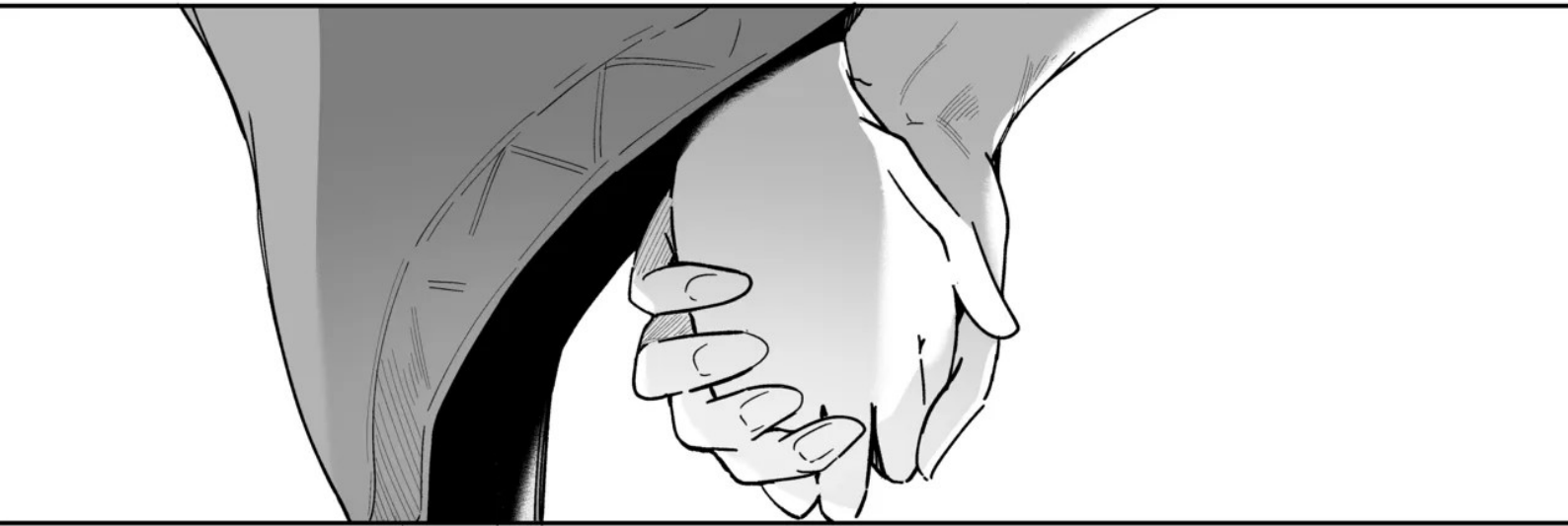
ふふっ♡
そんなに
慌てないで……♡



さあ……
母の手を
とって……♡



それでは
参りましょう……♡



その後のこと



◆ 気持ちも整理できたことでリーネの行動はより積極的に、そして大胆になっていきました。

◆ 最近では「ご奉仕すること」に恥じらいながらも喜びと幸せを感じています。

あとがき

久々の同人漫画です。今回のネタは、前作のあとがきで四つほど挙げた候補の中の一つである「おばさんもの」...から転じての「養母」です。いろいろ凝ったことやろうとして時間がかかった気がします。

次はページ数少なめのシンプルな作品になるかもしれません。

余談ですが昨年、初単行本である「性交交差点」が発売されました。興味がある方はこちらもよろしくお願いします。

奥付

タイトル： エルフの養母～愛するママとエッチなしきたり～

のうむさい

サークル： 濃霧菜

著者： ミヤシロヨースケ

Twitter： @y_mysr

連絡先： y-mysr@outlook.jp

・18歳未満は、この作品を購入・閲覧しないでください。
・この作品の無断転載や、複製・共有はしないでください